

## 第 52 回福島県ソフトテニス選手権大会反省及び改善点

### 1. 実施状況

期日：令和 2 年 7 月 5 日（日）8：00～15：00

場所：福島市庭球場（14 面使用）

種別：一般男子、一般女子 1 部、35 男子、45 男子、シニア 55 男子、シニア 60 男子、  
シニア 60 女子、シニア 65 男子、8 種別 69 ペア参加

### 2. 当日の反省及び改善点

#### (1) 受付係

- ① 「IDカード」をストラップ方式ではなくプログラム表紙印刷方式にしたが、分かりにくかった。  
⇒「IDカード」の見える化が必要（誰が見てもすぐ分かるようリストバンドを着用してはどうか？）
- ② 検温する際、係員と参加者の距離が近かった。（マスクはしていたが顔が無防備だった。）  
⇒フェイスシールドを準備し、着用する。（4 枚程度係員分準備）
- ③ 受付の亚克力板が低く、上から顔が見える（顔が出てしまう）。  
⇒受付にテントの上からコンビニの窓口にあるような透明のビニールカーテンを設置する。
- ④ 非接触式体温計の温度が低く出た。  
⇒距離を 5cm 以下に接近して測定する。（事前に対処説明が必要）
- ⑤ 感染防止策チェックリストの「登録番号」が何の番号か分かりにくかった。  
⇒「会員登録番号」と表記を改め、記載例をホームページに載せ周知徹底する。
- ⑥ 参加申込みを会員登録システムに変更し、参加料を振込にしたのは良かった。⇒今後も継続

#### (2) 進行

- ① 一般女子の予選リーグ・決勝トーナメントの時間が長引いた。  
⇒進行表作成時に準決勝を 2 コートに開いて作る。（予選リーグはコート移動を調整する。）
- ② ボールの交換時期が徹底しなかった。  
⇒進行表にボールの交換時期を明示する。（例えば 3 試合ごとに二重線で区切る。）

#### (3) 施設

- ① 手指用アルコール消毒液を受付、手洗場に設置したが、試合終了後使用する人は少なかった。  
⇒コート出入口にも配置し、試合終了後すぐに消毒する。

#### (4) その他

- ① 小学生の大会では参加人数も増えることが予想される。密にならない対策が必要か？  
⇒密にならないよう控え場所の割り当てや観客の入場制限を検討する必要がある。

### 3. 感想

今回、初めて「新型コロナウイルス感染防止策」を講じて大会を実施したが、想定していた対策は概ね実施できた。個人のマスク着用、受付でのチェックリストの提出や検温、応援、手洗い・消毒等協力を要請した対策に快くご協力をいただいた。また、一般で参加人数も少なかったことが幸いした。

今後の大会でもこれらの対策で効果的なものを継続し、反省点は改善していきたい。